

編集後記

●多くの出版物がそうですが、『月刊学校教育相談』も複数の人が校正して出版に至ります。最近は大変ミスによる誤植に注意が必要です。例えばコウセイという音を持っている漢字は、校正・構成・厚生・公正・更正・更生・後生…。「後生畏るべし」をもじって「校正恐るべし」と気を引き締めます。

●『日本語お稽古帳』（日本語力向上委員会著、毎日新聞社）は校正をクイズにした本で、1冊あたり5個か10個の誤植が埋め込まれています。あるとき、子どもたちにチャレンジしてもらいました。まず1人で探すと、多くの子は数個しか見つけられません。5～6人のチームで検討すると、一気に7～8個に増え、クラス全体では10個全部！ チームが持つ力を実感しました。

●困難なケースはチームで取り組む意識が学校に定着しつつあると思います。1人ではどうしても気づけないことがあるようです。 (こ)

次号のお知らせ

特集1 かかわり続ける

モチベーションをどう保つか

学校を取り巻く状況が厳しくなるなか、自ら学び、時間がかかる丁寧なかかわりを続けるモチベーションを、どのように保っていけばいいのでしょうか。

特集2 子どもに自信を持たせる

1年の始まりを

「今年はこのことに取り組んでみよう」自分なりの新しい年への決意や展望を持つことで、子どもたちのやる気を自信につなげたいものです。



月刊学校教育相談

2015年 平成27年 12月号

定価 800円 (本体 741円)

2015年12月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

・特集2で執筆された田村節子先生は、チーム援助の際によく使われる「石隈・田村式援助チームシート」を開発した方です。ほんの森出版では、『チーム援助で子どもとのかかわりが変わる』（石隈利紀・山口豊一・田村節子/編著）という本のほかに、『親と子が幸せになる「XとYの法則」』（田村節子/著 本間綾子/イラスト）というちょっと異色の本を出していただいています。子育てに悩む親にアドバイスする先生たちから、「この法則は役立つ！」との声をいただいています。イラストたっぷりの、小さな本です。

●本誌の2015年4月号からの1年間の誌代は12,080円（税込 増刊号2冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円（3冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を！ 資料の文書ファイル（一太郎・ワード）をご希望の方は、小社ホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索